



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	2001年度巡検報告 東京モスク・大久保・麻布巡検(fulltext)
Author(s)	大満,秀一朗
Citation	学芸地理(57): 51-52
Issue Date	2003-03-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2309/38599">http://hdl.handle.net/2309/38599</a>
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

## 2001年度巡検報告

## 東京モスク・大久保・麻布巡検

2001年11月10日(土)実施 案内者:加賀美雅弘(東京学芸大学助教授)

コース:代々木上原駅ー東京モスクー大久保エスニックタウンー麻布十番

2001年11月10日(土),小田急小田原線代々木上原駅に集合し,2001年度の学芸地理学会主催の巡検が総勢16名の参加で行われた。各巡検ポイントにおいて加賀美雅弘先生に説明を行っていただいた。

日本の大都市における外国人のコミュニティの形成過程と外国人が集住している地区の地理学的な意味について考えることがこの巡検におけるテーマであった。

はじめに代々木上原駅から徒歩5分くらいのところにある東京ジャーミイ(東京モスク)を見学した。東京モスクは1917年にロシアで共産主義革命が起き、ロシアに在住していた多数のトルコ人が国外避難をし、そのなかで、カザン州から満州経由で日本に避難したトルコ人がマハッレイ・イスラミツィエ協会を設立し、ジャーミイと学校を建設したのが始まりであり、1938年に完成した。トルコ人が創始者であるということからトルコ政府の援助などで1998年に再建されて、礼拝所・文化センターとしての機能もっている。

東京モスクの副委員長にモスクの持つ意味と日本における少数民族としてのイスラム教徒の生活についての話を聞いた。利用者はきわめて流動的でそのときの本国・および日本の社会的状態に大きく左右されているようである。また、礼拝をする場としてはあたりまえであるけれども、文化的な活動を通して少数集団と化してしまうイスラムの交流とネットワークの強化、日本人に対しての情報の発信という意味で文化的なセンターとしての意味も持っている。具体的

な文化的活動として、音楽活動、結婚式、展示会などを行っている。また、副委員長は学校教育においてスンナ派とシーア派という宗派の違いよりも所属する国に対しての帰属意識が問題と述べており、トルコという非アラブ民族とアラブ民族が一体になることの困難さを述べている。また、イスラム教徒が他の外国人に比べて集住していないことも学校建設ができないなどの問題点の一つであると述べている。

再び代々木上原駅に戻り小田急線・山手線と乗り継ぎ新大久保駅で下車した。ここではエスニックタウンである大久保地区の町並みの特性とその形成について説明があり、宗教的施設が地域のコミュニティに与える意味について考えるため、東京中央教会を訪問した。

大久保エスニックタウンはアジア系の人々が集住しており、特に韓国系の人々がその中の半数近くを占めている。就業形態として飲食店や食料品店、理髪店・美容院を営む人が全体の7割以上を占めている。住居は極めて狭い路地のそばに立ち、建築年数も古くかつ密集した形態を示している。火災などに極めて弱そうな町並みで再開発事業も計画されている。低所得層が多く居住しており、さらに開発主体者が高層マンション化を望んでいるために、ますます開発主体者と居住者の間でギャップが生まれている。ここでの宗教的施設はイスラム教徒に比べて、集住して住んでいるのも関係するか、ジェネレーションに関係なく信仰を主体として集まってくる人が多く、一方、特に韓国からの留学生の文化的交流センターとしての意味も持ってい

る。

最後に地下鉄大江戸線東新宿駅から麻布十番駅まで移動し、港区に多く分布する大使館地区、欧米系の人々が多く住む地区、教育施設（西町インターナショナルスクール）を見学し、ここで記念の集合写真を撮った。そして地下鉄日比谷線広尾駅で解散した。

日本において外国人が多く住む地区と一言で言えば、少数派集団の居住地区ということで片付けられるけれども、その少数集団もそれぞれ

の国の立場、文化的な差異、宗教に対する考え方、日本に來ている人たちの社会的な地位、訪日目的などで集住形体やコミュニティの形成に大きな差異が生じていることが理解できた。それは景観上にも明確に現れるものであった。首都東京において外国から日本に住み着く人の現状、歴史的背景、地域的・民族的差異について明確に分かりかつ問題点を考えられることの多い巡検であった。最後に非常に興味深い巡検を企画し案内して下さった加賀美先生に感謝したい。

(大満 秀一郎 51期)

